

| | | | | | |
|----|--|--------------------|----|-----|--|
| 11 | | 望湖偲故郷の石碑から望む小渋湖 桑原 | 見頃 | 秋 | <p>三六災害後、小渋ダムの建設に伴い桑原地区から移住した89人の名が刻まれる記念碑から望む小渋湖。湖底に沈んだ故郷に想いを馳せながら眺める小渋湖の景観が郷愁を誘う。紅葉の時は木々が鮮やかに色付く。</p> <p>旧小渋湖温泉近くの石碑が目印。奥にある細い階段を上ると小渋湖を見下ろすことができます。</p> |
| 12 | | 柳沢地区から望む中央アルプス 柳沢 | 見頃 | 通年 | <p>一面に広がる野菜畑を眺めながら遠くに望む中央アルプスと伊那谷の景色。農業が主要産業である中川村を象徴する風景。</p> <p>個人所有の畑が隣接しているため、通行にはご注意ください。</p> |
| 13 | | 葛北地区天白原から望む西山 葛北 | 見頃 | 通年 | <p>標高2,194mの烏帽子ヶ岳の億に標高2,613mの越百山がそびえる雄大な西山の景色。四季折々の移ろいを見せる美しい田畑とのコントラストは絶景。</p> <p>山のパン屋さんから南西に100mほど進んだ場所から見える景色です。</p> |
| 14 | | 葛北地区天白原から望む東山 葛北 | 見頃 | 通年 | <p>西山から振り返れば遠く大鹿村、豊丘村の山々を見渡すことができる、中川村の日々の暮らしに根付く、2つのアルプスに囲まれた穏やかな風景。</p> <p>(13)の反対側に見える景色です。</p> |
| 15 | | 水燃えて火となる 柏原 | 見頃 | 通年 | <p>南向発電所を建設した日本の電力王・福沢桃介翁揮毫の碑文。「電気を起こし、産業を興隆し、国を豊かにして、国民の文化を高める」という福沢翁の電気事業に対する熱い決意が刻まれている。</p> <p>南向発電所の福沢桃介像からは少し離れた場所にあります。</p> |
| 16 | | 渡場のイチョウ並木 渡場 | 見頃 | 秋 | <p>昭和58(1983)年に「渡場いこいの広場」により、渡場地区の特産品化を目的に植えられたイチョウ並木。秋には大勢の見物客で賑わい、銀杏拾いも行われる。白亜の南向発電所とのコントラストも美しい。</p> <p>例年11月上旬が見頃。イチョウ並木北側に駐車場があります。</p> |
| 17 | | 天竜橋から望む中央アルプス 渡場 | 見頃 | 通年 | <p>天竜橋は、昭和63年(1988)年に建設された永久橋。親柱や照明灯には村名産のりんごが配され、りんご橋の通称でも親しまれる。雪解けのときには、橋上から望む新緑のニセアカシアと南駒ヶ岳の残雪が美しい。</p> <p>写真撮影の際には、往來する車に注意してください。</p> |
| 18 | | 天竜川から望む中央アルプス 南田島 | 見頃 | 通年 | <p>天竜川のせせらぎを感じながら中央アルプスを望むのどかな風景。周辺を流れる南沢川には「南田島ホテルの里の保存会」によりホテルの生息環境が整備され、初夏には宵闇の中をホテルが飛び交う。</p> <p>5月から6月がホテルの観賞時期です。</p> |
| 19 | | 熊野社 南田島 | 見頃 | 春 秋 | <p>保谷川沿いの田園風景と、熊野社の佇まいが伝統と風情を感じさせる景色。毎年春秋に行われる例祭では、昭和54(1979)年に「南田島おはやし保存会」が再興した獅子舞が奉納される。</p> <p>南側の保谷川沿いに神社の入口があります。</p> |
| 20 | | 伊那田島の桜並木 田島 | 見頃 | 春 | <p>閑静な駅舎の周辺に植えられた寒緋桜の並木と中央アルプスのコントラストが絶景。伊那田島駅は大正9(1920)年11月に開業。一時乗車券が販売されたことがあったが、現在は無人駅となっている。</p> <p>電車でお越しになる場合、市街地から少し距離がありますのでご注意ください。</p> |